

比企城館跡群小倉城跡調査指導委員会 会議録

会議の名称	令和5年度第1回比企城館跡群小倉城跡調査指導委員会
主な議題	(1)事業の概要について (2)令和4年度発掘調査の概要について (3)令和5年度発掘調査について
開催日時	令和5年8月28日(月) 午後1時30分～午後4時00分
開催場所	玉川公民館1階視聴覚室、国指定史跡小倉城跡
会議録の公開 (非公開・一部 非公開)とその 理由	全部公開
出席委員	落合義明副委員長、宮田毅委員、田中信委員、橋口定志委員
事務局	久米正美教育長、正木達也生涯学習課長、田中和浩生涯学習課主幹、杉山拓馬生涯学習課主任
オブザーバー	埼玉県教育局市町村支援部文化資源課史跡・埋蔵文化財担当 村田章人 元ときがわ町教育委員会生涯学習課長(文化財担当) 石川安司
記録方法	要点筆記
<p>【審議等内容又は概要】</p> <p>1 開会 正木課長</p> <p>2 あいさつ 久米教育長</p> <p>3 議題 (1)事業の概要について(資料1～3) 国指定史跡小倉城跡発掘調査事業について、事務局より資料に基づき説明を実施。</p> <p>【指摘事項】</p> <p>① 石積遺構の保存方法等の問題は小倉城跡のなかで最優先事項であると認識している。</p> <p>② 石積遺構保存検討委員会は当調査指導委員会とメンバーを重複させながら、第三者の専門家を加えて必ず綿密な連携が取れる状態にするべき。立ち上げる際には事務局で構成メンバー等々をイメージし、町としての整備方針を明確にすること。それらは必ず当委員会と調整しながら進めて頂きたい。</p> <p>③ 建物等の復元はしないとあるが、枅形虎口においては当初の話ではここを一つの目玉として「門」を復元できると良いという話だったと思う。町の整備方針を決める際には、当然町長の考えもあると思うが、この点も踏まえてよく検討して頂きたい。</p>	

(2) 令和4年度発掘調査の概要について（資料4～9）

事務局より資料に基づき説明を実施。

(3) 令和5年度発掘調査について（現地）

事務局より令和4年度第2回会議の内容を踏まえて、調査範囲として枳形虎口の外面部を説明。

【指摘事項】

①版築面の連続性も確認したいため、令和4年度調査箇所に少し重なるようにトレンチを設定するのがよろしいかと思う。

②調査範囲も下方の道が折れるところまでが好ましい。

(4) その他

その他審議会等の長が必要と認めた事項

配布資料（PDF形式）

- ・次第
- ・資料

上記内容について、相違ないことを証します。

令和5年 月 日
